

いなみ野 工事だより



No.5

令和6年11月6日発行
いなみ野特別支援学校

いなみ野アートプロジェクト進行中

以前お知らせした「お世話になった校舎に思い出を残そう」の思いを込めた『いなみ野アートプロジェクト』がいよいよ始まりました。まだ、下描き段階ですが、校舎の壁に鉛筆で下絵を描いています。高等部の生徒が大きなプロジェクターを使って、下絵を拡大し、壁の大きさにして写し絵のように描いていきます。まずは高等部の生活する G 棟で作業を開始しながら、細かな手順を確認しています。この先、取り壊しの決まっている B 棟ホールや体育館にもどんどん絵が広がっていきますよ。

12月の学習発表会の終わる9日(月)から13日(金)の週には「いなみ野アートプロジェクト週間」と題して、高等部の生徒と小・中学部の児童生徒と一緒に体育館の壁を中心に大きな絵を描く計画です。

大きな企業の援助を受け、「ぺんてる」からは画材の提供(絵の具、刷毛等)、画材の使いかたのアドバイス、「キヤノン」からはカメラの貸し出しや記念写真(大判プリント額装付)のプレゼントがある予定になっており、教師もワクワクしながら授業案を考えているところです。



仮設校舎の内装がほぼ完成に近づいてきました

壁や天井にきれいなパネルが入り、鉄骨が見えていた時期から比べると、ずっと教室らしさが出てきました。

また、引っ越しの業者も決まり、11月中旬には具体的な引っ越しの手順について、業者からの説明を受けて、荷物を詰めていく作業に入ることになりそうです。仮設校舎では使えないグランドピアノなどの大きな道具類は他校に預け、毎日必要な物を仮設プレハブ校舎に、毎日はいらないけれど時々や時期に応じて必要な物は一部残す予定のC棟の教室に保管します。倉庫の場所がなく、たくさんの荷物をどうするか、学校中で頭を抱えています…。何かいいアイデア、ありませんか？

